

報道関係者各位
お知らせ

2013年11月5日 AsMama 最新刊全国発売！
“理想の子育て環境”の答えは 1000 人のママたちの声にあった！
最強の子育てライフライン「子育てシェア」誕生までの軌跡
『～欲しい子育て支援は自分たちの手で創り出そう～
ワンコインの子育てシェアが社会を変える！！』

身近な親同士や地域の送迎保育支援者と携帯ひとつで繋がり、ワンコインで頼り合う「子育てシェア(β版)」を運営する株式会社 AsMama(代表・甲田恵子)は、このたび、『～欲しい子育て支援は自分たちの手で創り出そう～ ワンコインの子育てシェアが社会を変える！！』を全国書店にて出版することとなりましたので、お知らせいたします。

本書は、「誰もが育児も仕事もやりたいことも、思い通りに実現できる社会の仕組みや取り組みを創ること」を経営理念として、2009年11月4日に創業した株式会社 AsMama が、パパ友・ママ友同士はもちろん、地域の支援者とも自動につながりあい、いざというときにも、何気ない日常の中でも気軽に子育てを頼りあうことができる最強の子育てライフライン「子育てシェア」をリリースするまでの軌跡を綴ったものです。

「はじめに」より

私たち AsMama が取り組んでいる「子育てシェア」は、顔見知り同士が安心して気兼ねなく送迎や保育を頼りあえる仕組みです。でも、この「子育てシェア」が社会に広がり、当たり前の子育てインフラになるためには、ひとつ、とっても大切なことがあるんです。

それは大人たちが、「子育ては誰かを頼ったほうがいいんだ」という、信念を持つこと。自分の子どもを預けたって、他人の子どもを預かったって、ぜんぜん問題なんてなく、むしろ子どもたちにとって、他人の世話になることは最大の成長機会だ！ という方向へ、意識をスイッチすること。そんな文化を自分たち自身で築くこと。

まるでバスやコンビニを使うように「子育てシェア」で助けあい、大人たちの可能性も子どもたちの可能性も最大限伸ばしあう社会になるために……。この本が多くの方を巻き込み、子育てを誰もがシェアするという新たな文化の最初の一押しになれたら幸せです。

【構成】

- Prologue 子育てをシェアする時代がきた！
- Capture1 AsMama 誕生前夜
- Capture2 怒涛の街頭 1000 人アンケート
- Capture3 ママサポーター誕生
- Capture4 ワンコインで子育てをシェアしよう！
- Capture5 AsMama はどうやって成り立っているの？
- Capture6 AsMama で変わるママたち
- Capture7 社会を変えるために、一歩を踏み出してみませんか

◆◆◆ 本リリースに関するお問い合わせ ◆◆◆

報道関係者各位
お知らせ

【書籍概要】

タイトル	～欲しい子育て支援は自分たちの手で創り出そう～ ワンコインの子育てシェアが社会を変える！！
著者	株式会社AsMama 代表取締役社長CEO 甲田恵子
発行所	合同フォレスト株式会社 東京都千代田区神田神保町1-28 03-3291-5200
価格	本体1400円+税
発行日	2013年11月15日

【AsMama 代表取締役社長 CEO 甲田恵子プロフィール】

1975年大阪生まれ。米国留学を経て関西外国語大学を卒業後、環境事業団（現 独立行政法人環境再生保全機構）にて役員秘書と国際協力室を併任。インターネット時代の到来と共にニフティ株式会社に転職し、海外事業の立ち上げに従事。在職時にはビジネスモデル特許を8件発案。2005年、同社在籍中に長女、愛珠（あず）を出産。復職後は上場・IRの主担当を拝命。その後、ベンチャー投資会社ngi group株式会社（現 ユナイテッド株式会社）にて広報・IR室長に就任。会社都合で2009年に同社を退社。その後、出産育児が理由でやりたいことが出来ないでいる人たちが能力を活かして自己実現できる社会を創ることこそが、育児鬱、虐待、女性の就労支援、少子化、世帯所得や日本経済の低迷、男性の長時間労働、子どもや若者の将来不安等々、数多ある社会課題の解決につながるのではないかと思い、「頼り合えることで一人ひとりがライフステージにかかわらずやりたいことが実現できる社会の仕組みを創ろう」と全国から同志を募り、株式会社AsMamaを設立。スタッフは全国に点在し、ほとんどが子連れで働く。24時間、ネットや電話で随時連絡を取り合いながら、各地で業務を行う。睡眠時間は平均3時間。テレビ出演や雑誌、新聞等への掲載多数。著書に「子育ては頼っていいんです～共育て共育ち白書」がある。多趣味。苦手なもの、「暇」。

◆◆◆ 本リリースに関するお問い合わせ ◆◆◆